

Ⅱ 基金運用状況

第 1 審査の対象

- 1 基金運用状況調書
 - (1) 静岡市土地開発基金調書
 - (2) 静岡市国民健康保険高額療養費貸付基金調書

第 2 審査の期間

令和2年6月15日から令和2年8月17日まで

第 3 審査の方法

基金運用状況調書について、会計管理者及び関係所属所管の諸帳簿類と照合し、計数の確認を行った。

また、基金の運用状況について、関係職員からの説明聴取等の方法による審査を行った。

第 4 審査の結果

各基金について、計数は正確であり、運用状況についても設置目的に沿って、おおむね適正に運用しているものと認められた。

第 5 概要

本市の定額資金を運用するための基金は、次の 2 基金であり、運用状況は以下のとおりである。

1 土地開発基金

この基金は、公用若しくは公共用に供する土地又は公共の利益のために取得する必要がある土地をあらかじめ取得することにより、事業の円滑な執行を図ることを目的として設置されたものである。

(1) 基金の総額は 19 億円で、決算年度末現在の内訳は、現金 7 億 9,523 万円、土地 11 億 476 万円となっていた。

(2) 基金の運用状況は、次のとおりである。

(単位 千円)

区 分	前年度末 現在額 (高)	決算年度中 増減額 (高)	決算年度末 現在額 (高)
現 金	795,232	—	795,232
土 地	1,104,767	—	1,104,767
(面 積)	(14,502.75 m ²)	—	(14,502.75 m ²)
計	1,900,000	—	1,900,000

ア 基金による土地の取得及び処分がなかったため、現金及び土地の増減はなかった。

イ 基金運用収益は 4 万円であり、全額一般会計で収入していた。

2 国民健康保険高額療養費貸付基金

この基金は、静岡市国民健康保険の被保険者が高額な療養費を要する療養をした場合に、当該療養に必要な資金を貸し付けることを目的として設置されたものである。

(1) 基金の額は2,000万円で、前年度と同額となっていた。

(2) 基金の運用状況は、次のとおりである。

(単位 千円・比率 %)

区 分	令和元年度	平成30年度	比較増減	増減率
① 基 金	20,000	20,000	0	0.0
② 収 入 金 額	15,892	21,418	△5,526	△25.8
③ 支 出 金 額	15,892	21,418	△5,526	△25.8
④ 未収入金額 ③－②	0	0	0	—
⑤ 現 金 ①－④	20,000	20,000	0	0.0
⑥ 回 転 率 ③÷①	0.79 回転	1.07 回転	△0.28 回転	—

ア 基金の貸付状況は48件で、1,589万円(1件平均33万円)となっており、前年度に比べ、552万円(25.8%)減少していた。これは、申請金額が減少したことによるものである。

イ 回転率は0.79回転となっており、前年度を0.28回転下回っていた。

ウ 基金運用収益は1千円であり、全額一般会計で収入していた。